

商学部観光産業学科カリキュラム・マップ

◆卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の教育課程において、所定の単位を修得し、以下の目標を達成した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- (1) 豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけること。
- (2) 国際社会における生活慣習や環境の相違に基づく多様な価値観や世界観の存在を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につけること。
- (3) 修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につけること。

◆教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

以下の教育方針に基づく6つの分野から編成されたカリキュラムにおいて、少人数教育を基軸にして、豊かな知識・柔軟な発想・実践力のある技能を身につけ、総合的能力に長ける人材育成を目指します。

1.国際ビジネス、国際観光を担う人材の養成

国境を越えて多方面にわたる交流が進展するグローバル化時代においては、世界の人々が相互にそれぞれの文化的な特性・習慣・生活環境における価値観や世界観の相違を認め合いながら共生していく必要があります。本学は、こうした人と人とのグローバルな関係が深化する社会情勢を前にして、国際ビジネス、国際観光の分野において、豊かな知識、柔軟な発想、実践力のある技能を身につけた国際社会と地域社会に貢献するグローバルな活動を担いうる人材養成を行います。

2.少人数教育とバイリンガル教育の充実

研究と教育を統合する人材育成システムを目指し、少人数による課題設定教育と研究に裏付けられた自己主張に基づくコミュニケーションを可能にする教育を行います。また、国際社会において活躍する能力を養成するため、外国人講師による講義形態を積極的に取り入れ、実践的なバイリンガル教育を行います。

3.専門職資格取得を目指す専門キャリアアップ（APQ）教育の実践

新しい大学運営システムを取り入れた専門的技能を習得する実践的教育を実現します。語学・情報管理・観光・貿易通商・社会行政のそれぞれの分野において、高度な技能と資格の取得を目指すカリキュラムを実施します。

※【APQ】Advanced Professional Qualification

4.躍進する北東アジア（中国・韓国）地域等協力の実践

北東アジア地域との恒常的な交流を目的にした教育を展開し、躍進する北東アジア地域の発展に貢献

するため、6ヶ月間の語学研修プログラムを含むカリキュラムを提供し、異文化体験を通じた国際的な視野とセンスを身に付けさせます。

中国および韓国の協定大学と「相互教育実践プログラム協定」に基づいた留学研修制度を設置して、地域協力の交流を促進します。

5.産学官連携と国際共同を基軸にする地域密着型教育の実践

北海道の発展方向に沿った大学のあり方を追求し、北海道の産業・経済学との連携を深めるため、関係諸機関および個人による特別講義・ゼミをオプション講義として展開します。国際化やグローバル化に適応できる実践的能力を修得した人材の北海道地域での活動の場を確保します。

◆到達目標

<到達目標>		対応する 学位授与方針
A	異文化交流で活用できる語学（英語・中国語・韓国語）の基礎力と会話を身に付け、国際的ビジネスコミュニケーション能力を養成する。	1,2
B	一般的・普遍的な教養を身につける。	1,2
C	商学・観光学分野への関心を幅広く醸成し、両分野の基礎的知識を修得する。	3
D	商 東アジアを中心としたグローバル化を見据えた商取引の諸問題を解決するための創造的な発想と実践力を身につける。	1,2,3
	観 東アジアを中心としたグローバル化を見据えた観光産業及びビジネス全般に有用な基礎的・専門的知識とその応用力を身につける。	1,2,3
E	主体的に企業経営や組織運営の諸問題を発見し、専門的知識を創造的に駆使して、問題を構成する諸課題を能動的に解決していける実践的な能力を養成する。	3
F	商学・観光学分野の知識と両分野の学修に不可欠な関連諸科学の基礎知識を相互に関連づけて理解し、活用する能力を身につける。	3
G	卒業後の進路や職業選択を意識した資格取得やスキルアップを通してアカデミックキャリアを形成する。企業や社会の実態を知ることを通して、将来へ向けた確かなキャリアを形成する。	1,3
H	生涯必要とされる多様な学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得し、思考力と実行力・課題解決力を向上させる。	1,3

◆ナンバリング

(ナンバリングとは)

学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するために、授業科目に適切な番号を付し分類すること。カリキュラム上の科目の位置づけを示しています。

(例) 英会話 I

A En 1 01

(区分) (分類) (セメスター) (番号)

(区分) 大分類

A:異文化交流科目(語学) B:異文化交流科目(社会と文化) C:専門基礎科目 D:専門関連科目
E:商学科専門科目(A群) F:商学科専門科目(B群)
G:商学科専門科目(C群) H:商学科専門科目(D群)
I:観光産業学科専門科目(A群) J:観光産業学科専門科目(B群)
K:観光産業学科専門科目(C群) L:観光産業学科専門科目(D群)
M:専門キャリアアップ科目

※教職に関する科目は除外。

(分類) 中分類

分類	分類詳細(英語)	分類詳細(日本語)
Ac	Accounting	会計ファイナンス
Aq	Acquisition of qualification	資格取得
Bu	Business	経営
Cc	Comparative culture	比較文化
Ce	Contemporary economy	現代経済
Ch	Chinese	中国語
Co	Computer	コンピュータ
Ec	Economics	経済
Ed	Education	教育
En	English	英語
Es	Environmental science	環境科学
Fa	Foreign affairs	国際事情

In	Internship	インターンシップ
Is	Information and statistics	情報と統計
Kr	Korean	韓国語
La	Law	法律
Ll	Language and literature	文学
Or	Organization	組織マネジメント
Pe	Politics and economics	政治経済
Ph	Philosophy	哲学
Pl	Planning	計画
Po	Politics	政治
Ps	Psychology	心理
Se	Seminar	ゼミナール
Sp	Special lecture	特殊講義
Ss	Sports science	スポーツ科学
St	Strategy	戦略マーケティング
Sz	Special seminar	特別ゼミナール
Tb	Tourism business	観光事業
To	Tourism	観光
Tp	Tourism policy	観光政策

（セメスター） 配当セメスター/水準コード

水準コードとは、当該科目における学習内容の難易度を示したものです。本学ではセメスターが上がるごとに授業の難易度も上がっていきます。（1→8）

（番号） 小分類

分類毎に番号が振られています。

区分	授業科目	単位	セメスター	到達目標								ナンバリング			
				A	B	C	D	E	F	G	H	区分	分類	セメ	番号
異文化 交流科目 語学	英会話Ⅰ	9	1	○								A	En	1	01
	英会話Ⅱ	9	2	○								A	En	2	02
	英会話Ⅲ	6	2	○								A	En	2	03
	英会話・作文Ⅰ	6	3	○								A	En	3	04
	英会話・作文Ⅱ	4	4	○	○							A	En	4	05
	中国語Ⅰ	9	1	○								A	Ch	1	01
	中国語Ⅱ	9	2	○								A	Ch	2	02
	留学中国語	12	1	○								A	Ch	1	03
	海外中国語	15	2	○								A	Ch	2	04
	中国語会話・作文Ⅰ	6	3	○								A	Ch	3	05
	中国語会話・作文Ⅱ	4	4	○	○							A	Ch	4	06
	韓国語Ⅰ	9	1	○								A	Kr	1	01
	韓国語Ⅱ	9	2	○								A	Kr	2	02
	留学韓国語	12	1	○								A	Kr	1	03
	海外韓国語	15	2	○								A	Kr	2	04
異文化 交流科目 社会と文化	韓国語会話・作文Ⅰ	6	3	○								A	Kr	3	05
	韓国語会話・作文Ⅱ	4	4	○	○							A	Kr	4	06
	論理と思考A	3	1		○							B	Ph	1	01
	論理と思考B	3	2		○							B	Ph	2	02
	近代社会と倫理学A	3	1		○							B	Ph	1	03
	近代社会と倫理学B	3	2		○							B	Ph	2	04
	哲学と社会思想A	3	1		○							B	Ph	1	05
	哲学と社会思想B	3	2		○							B	Ph	2	06
	市民社会と自由A	3	1		○							B	Ph	1	07
	市民社会と自由B	3	2		○							B	Ph	2	08
	日本近代とアジアA	3	1		○							B	Pe	1	01
	日本近代とアジアB	3	2		○							B	Pe	2	02
	東アジアの動きA	3	1		○							B	Pe	1	03
	東アジアの動きB	3	2		○							B	Pe	2	04
	日本文化と東アジアA	3	1		○							B	Pe	1	05
	日本文化と東アジアB	3	2		○							B	Pe	2	06
	日本文学と日本語A	3	1		○							B	Ll	1	01
	日本文学と日本語B	3	2		○							B	Ll	2	02
	国際経済の動きA	3	1		○							B	Pe	1	07
	国際経済の動きB	3	2		○							B	Pe	2	08
	言語の科学A	2	1		○							B	Ll	1	03
	言語の科学B	2	2		○							B	Ll	2	04
	国際社会と異文化交流A	2	1	○	○							B	Ll	1	05
	国際社会と異文化交流B	2	2	○	○							B	Ll	2	06
	異文化と言語A	2	1		○							B	Ll	1	07
	異文化と言語B	2	2		○							B	Ll	2	08
	国際社会と安全保障A	2	1		○							B	Pe	1	09
	国際社会と安全保障B	2	2		○							B	Pe	2	10
	スポーツの科学	2	4		○							B	Ss	4	01
	中国社会文化特講	1	1		○							B	Ll	1	09
	韓国社会文化特講	1	1		○							B	Ll	1	10
	社会と経済（中国）	2	2	○	○							B	Pe	2	11
	社会と経済（韓国）	2	2	○	○							B	Pe	2	12
	キャリアリテラシー	3	1		○							B	Pe	1	13
	地域比較開発論	3	1		○							B	Pe	1	14
	都市比較デザインの現状	3	1		○							B	Pe	1	15
	現代社会と情報ネットワークA	3	1		○							B	Pe	1	16
	現代社会と情報ネットワークB	3	2		○							B	Pe	2	17
	文化心理学A	3	1		○							B	Ph	1	09
	文化心理学B	3	2		○							B	Ph	2	10
	質的社会調査論A	2	1		○							B	Ll	1	11
	質的社会調査論B	2	2		○							B	Ll	2	12
	東アジア比較開発A	2	1		○							B	Pe	1	18
	東アジア比較開発B	2	2		○							B	Pe	2	19
	異文化コミュニケーションA	1	1		○							B	Ll	1	13
	異文化コミュニケーションB	1	1		○							B	Ll	1	14
	異文化コミュニケーションC	1	2		○							B	Ll	2	15
	異文化コミュニケーションD	1	2		○							B	Ll	2	16
	異文化コミュニケーションE	1	3		○							B	Ll	3	17
	異文化コミュニケーションF	1	3		○							B	Ll	3	18
	異文化コミュニケーションG	1	4		○							B	Ll	4	19
	異文化コミュニケーションH	1	4		○							B	Ll	4	20
	社会文化ゼミナール	2	1		○							B	Se	1	01
	異文化ゼミナール	2	2		○							B	Se	2	02

区分	授業科目	単位	セメスター	到達目標								ナンバリング			
				A	B	C	D	E	F	G	H	区分	分類	セメ	番号
専門基礎科目	データサイエンス・AI論	2	1		○							C	Is	1	01
	経済と社会の仕組みⅠ	3	3					○	○		○	C	Bu	3	01
	経済と社会の仕組みⅡ	2	4					○	○		○	C	Bu	4	02
	経済システム理論Ⅰ	3	3					○	○		○	C	Ec	3	01
	経済システム理論Ⅱ	2	4					○	○		○	C	Ec	4	02
	コンピュータ・リテラシーⅠ	3	3						○		○	C	Co	3	01
	コンピュータ・リテラシーⅡ	2	4						○		○	C	Co	4	02
専門関連科目	経済理論A	3	5		○				○			D	Ec	5	03
	経済理論B	2	6		○				○			D	Ec	6	04
	応用経済A	3	5		○				○			D	Ec	5	05
	応用経済B	2	6		○				○			D	Ec	6	06
	北海道経済論	2	6		○				○			D	Ec	6	07
	日本経済論A	2	3		○				○			D	Ce	3	01
	日本経済論B	2	4		○				○			D	Ce	4	02
	現代中国経済論	2	3		○				○			D	Ce	3	03
	現代韓国経済論	2	3		○				○			D	Ce	3	04
	比較企業形態論	2	3		○				○			D	Bu	3	03
	アジア比較文化論	2	6		○				○			D	Cc	6	01
	アメリカ比較文化論	2	6		○				○			D	Cc	6	02
	比較経済論A	2	5		○				○			D	Ec	5	08
	比較経済論B	2	6		○				○			D	Ec	6	09
	国際関係論（政治学を含む）	2	3		○				○			D	Po	3	01
	環境科学論	2	3		○				○			D	Es	3	01
	環境経済論	2	4		○				○			D	Ec	4	10
	公共経済論	2	6		○				○			D	Ec	6	11
	労働経済論	2	3		○				○			D	Ec	3	12
	情報社会と統計	2	3		○				○			D	Is	3	01
	社会心理学	2	6		○				○			D	Ps	6	01
	地域交通体系論	2	3		○				○			D	Pl	3	01
	都市計画論	2	3		○				○			D	Pl	3	02
	民法基礎	2	4		○				○			D	La	4	01
	商法基礎	2	6		○				○			D	La	6	02
	経済法	2	5		○				○			D	La	5	03
	労働法	2	5		○				○			D	La	5	04
	法社会の基礎（日本国憲法を含む）	2	5		○				○			D	La	5	05
	現代アメリカ政治A	2	3		○				○			D	Po	3	02
	現代アメリカ政治B	2	4		○				○			D	Po	4	03
	量的社会調査方法論A	2	3		○				○			D	Is	3	02
	量的社会調査方法論B	2	4		○				○			D	Is	4	03
	地域コミュニティ論	2	6		○				○			D	Ps	6	02
	現代中国論A	2	3		○				○			D	Fa	3	01
	現代中国論B	2	4		○				○			D	Fa	4	02
	東アジア政治思想A	2	3		○				○			D	Po	3	04
	東アジア政治思想B	2	4		○				○			D	Po	4	05
	特殊講義Ⅰ	2	-			○			○			D	Sp	-	01～
	特殊講義Ⅱ	2	-			○			○			D	Sp	-	01～
	特殊講義Ⅲ	2	-			○			○			D	Sp	-	01～
	特殊講義Ⅳ	2	-			○			○			D	Sp	-	01～
	特別ゼミナールⅠ	-	-		○							D	Sz	-	01～
	特別ゼミナールⅡ	-	-		○							D	Sz	-	01～
	特別ゼミナールⅢ	-	-		○							D	Sz	-	01～
	特別ゼミナールⅣ	-	-		○							D	Sz	-	01～
科目A群	マーケティングⅠ	3	4			○			○			E	St	4	01
	企業経営論Ⅰ	3	4			○			○			E	Or	4	01
	金融システム論Ⅰ	3	4			○			○			E	Ac	4	01
	アカウンティングⅠ	2	4			○				○		E	Ac	4	02
	人的資源管理論Ⅰ	3	4			○			○			E	Or	4	02
	国際経営論Ⅰ	3	4				○	○				E	Or	4	03
	物流システム論Ⅰ	3	4				○	○				E	St	4	02
	管理会計論Ⅰ	3	4			○			○			E	Ac	4	03
	経営分析論Ⅰ	3	4					○				E	Ac	4	04
	流通戦略論Ⅰ	3	4			○			○			E	St	4	03

区分	授業科目	単位	セメスター	到達目標								ナンバリング			
				A	B	C	D	E	F	G	H	区分	分類	セメ	番号
科目B群	マーケティングⅡ	3	5					○				F	St	5	04
	企業経営論Ⅱ	3	5					○				F	Or	5	04
	金融システム論Ⅱ	3	5					○				F	Ac	5	05
	アカウントティングⅡ	3	5						○			F	Ac	5	06
	人的資源管理論Ⅱ	3	5					○				F	Or	5	05
	国際経営論Ⅱ	3	5				○	○				F	Or	5	06
	物流システム論Ⅱ	3	5				○	○				F	St	5	05
	管理会計論Ⅱ	3	5					○				F	Ac	5	07
	経営分析論Ⅱ	3	5					○				F	Ac	5	08
	流通戦略論Ⅱ	3	5				○	○				F	St	5	06
科目C群	流通論	2	5				○	○				G	St	5	07
	広告論	2	6					○				G	St	6	08
	国際金融論	2	6				○	○				G	Ac	6	09
	アントレプレナーシップ論	2	6				○	○				G	Or	6	07
	国際ビジネスコミュニケーション	2	6				○	○				G	Or	6	08
	国際経営組織論	2	6				○	○				G	Or	6	09
	中小企業経営論	2	6					○				G	Or	6	10
	企業経営戦略論	2	6					○	○			G	St	6	09
	財務諸表論	2	5					○	○			G	Ac	5	10
	原価計算論	2	6			○		○	○			G	Ac	6	11
科目D群	コマース研究ゼミナールⅠ	2	4							○	○	H	Se	4	01
	コマース研究ゼミナールⅡ	2	5							○	○	H	Se	5	02
	コマース研究ゼミナールⅢ	2	6							○	○	H	Se	6	03
	コマース研究ゼミナールⅣ	2	7							○	○	H	Se	7	04
	卒業論文	4	8							○	○	H	Se	8	05
専門科目A群	観光学Ⅰ	3	4			○	○					I	To	4	01
	観光事業論Ⅰ	3	4			○		○	○			I	Tb	4	01
	観光地理論Ⅰ	3	4			○				○		I	To	4	02
	観光政策論Ⅰ	3	4			○	○					I	Tp	4	01
	観光産業論Ⅰ	3	4			○		○	○			I	Tb	4	02
	観光振興論Ⅰ	3	4			○	○					I	Tp	4	02
	観光情報学Ⅰ	3	4			○			○			I	Tb	4	03
専門科目B群	観光学Ⅱ	3	5			○			○			J	To	5	03
	観光事業論Ⅱ	3	5				○		○			J	Tb	5	04
	観光地理論Ⅱ	3	5				○		○			J	To	5	04
	観光政策論Ⅱ	3	5				○		○			J	Tp	5	03
	観光産業論Ⅱ	3	5			○		○	○			J	Tb	5	05
	観光振興論Ⅱ	3	5				○		○			J	Tp	5	04
	観光情報学Ⅱ	3	5						○			J	Tb	5	06
専門科目C群	観光関連法規	2	5							○		K	La	5	06
	観光形態論	2	6			○			○			K	To	6	05
	観光景観論	2	5		○	○			○			K	To	5	06
	観光調査論	2	6						○			K	Tp	6	05
	地域観光論	2	6						○			K	Tb	6	07
	旅行企画論	2	6							○		K	Tb	6	08
	観光ビジネス論	2	6						○			K	Tb	6	09
	観光文化論	2	4		○	○			○			K	To	4	07
	旅行業実務	2	5							○		K	Tb	5	10
専門科目D群	ツーリズム研究	2	6				○		○			K	To	6	08
	観光研究ゼミナールⅠ	2	4						○		○	L	Se	4	01
	観光研究ゼミナールⅡ	2	5						○		○	L	Se	5	02
	観光研究ゼミナールⅢ	2	6						○		○	L	Se	6	03
	観光研究ゼミナールⅣ	2	7						○		○	L	Se	7	04
	卒業論文	4	8						○		○	L	Se	8	05

区分	授業科目	単位	セメスター	到達目標								ナンバリング			
				A	B	C	D	E	F	G	H	区分	分類	セメ	番号
A P Q 科目	情報管理論Ⅰ	2	5							○	○	M	Co	5	03
	情報管理論Ⅱ	2	6							○	○	M	Co	6	04
	情報管理論Ⅲ	2	7							○	○	M	Co	7	05
	旅行業務論Ⅰ	2	5			○				○		M	Tb	5	11
	旅行業務論Ⅱ	2	5			○				○		M	Tb	5	12
	旅行業務論Ⅲ	2	6			○				○		M	Tb	6	13
	旅行業務論Ⅳ	2	7			○				○		M	Tb	7	14
	社会行政論Ⅰ	2	3							○		M	Aq	3	01
	社会行政論Ⅱ	2	4							○		M	Aq	4	02
	社会行政論Ⅲ	2	5							○		M	Aq	5	03
	社会行政論Ⅳ	2	6							○		M	Aq	6	04
	社会行政論Ⅴ	2	6							○		M	Aq	6	05
	税務会計論Ⅰ	2	5			○				○		M	Ac	5	12
	税務会計論Ⅱ	2	6			○				○		M	Ac	6	13
	税務会計論Ⅲ	2	7			○				○		M	Ac	7	14
	通商実務論Ⅰ	2	5			○				○		M	Aq	5	06
	通商実務論Ⅱ	2	5			○				○		M	Aq	5	07
	通商実務論Ⅲ	2	6			○				○		M	Aq	6	08
	通商実務論Ⅳ	2	7			○				○		M	Aq	7	09
	PAL（専門職中国語）Ⅰ	2	5	○						○		M	Ch	5	07
	PAL（専門職中国語）Ⅱ	2	6	○						○		M	Ch	6	08
	PAL（専門職中国語）Ⅲ	2	7	○						○		M	Ch	7	09
	PAL（専門職中国語）Ⅳ	2	8	○						○		M	Ch	8	10
	PAL（専門職韓国語）Ⅰ	2	5	○						○		M	Kr	5	07
	PAL（専門職韓国語）Ⅱ	2	6	○						○		M	Kr	6	08
	PAL（専門職韓国語）Ⅲ	2	7	○						○		M	Kr	7	09
	PAL（専門職韓国語）Ⅳ	2	8	○						○		M	Kr	8	10
	PAL（TOEIC英語）Ⅰ	2	5	○						○		M	En	5	06
	PAL（TOEIC英語）Ⅱ	2	6	○						○		M	En	6	07
	PAL（TOEIC英語）Ⅲ	2	7	○						○		M	En	7	08
	PAL（TOEIC英語）Ⅳ	2	8	○						○		M	En	8	09
	インターンシップⅠ	2	6							○		M	In	6	01
	インターンシップⅡ	2	7							○		M	In	7	02
	職業指導Ⅰ	2	3							○		M	Ed	3	01
	職業指導Ⅱ	2	6							○		M	Ed	6	02
	商業科教育法Ⅰ	2	5							○		M	Ed	5	03
	商業科教育法Ⅱ	2	6							○		M	Ed	6	04
	公民科教育法Ⅰ	2	5							○		M	Ed	5	05
	公民科教育法Ⅱ	2	6							○		M	Ed	6	06

商学部観光産業学科 カリキュラム・ツリー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー【DP】）

DP 1	豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につけること。
DP 2	国際社会における生活慣習や環境の相違に基づく多様な価値観や世界観の存在を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につけること。
DP 3	修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につけること。

到達目標

A (DP 1 2)	異文化交流で活用できる語学（英語・中国語・韓国語）の基礎力と会話力を身につけ、国際的ビジネスコミュニケーション能力を養成する。	E (DP 3)	主体的に企業経営や組織運営の諸問題を発見し、専門的知識を創造的に駆使して、問題を構成する諸課題を能動的に解決していける実践的な能力を養成する。
	語学・社会と文化・専門キャリアアップ		専門基礎・商学科専門（A・B・C）・観光産業学科専門（A・B）
B (DP 1 2)	一般的・普遍的な教養を身につける。	F (DP 3)	商学・観光学分野の知識と両分野の学修に不可欠な関連諸科学の基礎知識を相互に関連づけて理解し、活用する能力を身につける。
	語学・社会と文化・専門関連		専門基礎・専門関連・商学科専門（A・B・C）観光産業学科専門（A・B・C・D）
C (DP 3)	商学・観光学分野への関心を幅広く醸成し、両分野の基礎的知識を修得する。	G (DP 1 3)	卒業後の進路や職業選択を意識した資格取得やスキルアップを通してアカデミックキャリアを形成する。企業や社会の実態を知ることを通して、将来へ向けた確かなキャリアを形成する。
	専門関連・商学科専門（A・B・C）・専門キャリアアップ		商学科専門D・観光産業学科専門（A・B・C）
D (DP 1 2 3)	（観）東アジアを中心としたグローバル化を見据えた観光産業及びビジネス全般に有用な基礎的・専門的知識とその応用力を身につける。（商）東アジアを中心としたグローバル化を見据えた商取引の諸問題を解決するための創造的な発想と実践力を身につける。	H (DP 1 3)	生涯必要とされる多様な学修に通じる基礎的な知識やスキル、リテラシーを獲得し、思考力と実行力・課題解決力を向上させる。
	商学科専門（A・B・C）・観光産業学科専門（A・B・C）		商学科専門D・観光産業学科専門D・専門キャリアアップ

セメスター（難易度）

1	➡	2	➡	3	➡	4	➡	5	➡	6	➡	7	➡	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

語学（AB）

英会話Ⅰ	英会話Ⅱ
中国語Ⅰ	英会話Ⅲ
韓国語Ⅰ	中国語Ⅱ
	韓国語Ⅱ

社会と文化（AB）

異文化コミュニケーションA	異文化コミュニケーションC
異文化コミュニケーションB	異文化コミュニケーションD
論理と思考A	論理と思考B
近代社会と倫理学A	近代社会と倫理学B
哲学と社会思想A	哲学と社会思想B
市民社会と自由A	市民社会と自由B
日本近代とアジアA	日本近代とアジアB
東アジアの動きA	東アジアの動きB
日本文化と東アジアA	日本文化と東アジアB
日本文学と日本語A	日本文学と日本語B
国際経済の動きA	国際経済の動きB
言語の科学A	言語の科学B
国際社会と異文化交流A	国際社会と異文化交流B
異文化と言語A	異文化と言語B
国際社会と安全保障A	国際社会と安全保障B
社会文化ゼミナール	異文化ゼミナール
中国社会文化特講	社会と経済（中国）
韓国社会文化特講	社会と経済（韓国）
現代社会と情報ネットワークA	現代社会と情報ネットワークB
文化心理学A	文化心理学B
質的社会調査論A	質的社会調査論B
東アジア比較開発A	東アジア比較開発B
キャリアリテラシー	
地域比較開発論	
都市比較デザインの現状	

専門基礎（B）

データサイエンス・AI論

英会話・作文Ⅰ
中国語会話・作文Ⅰ
韓国語会話・作文Ⅰ

英会話・作文Ⅱ
中国語会話・作文Ⅱ
韓国語会話・作文Ⅱ

異文化コミュニケーションE
異文化コミュニケーションF

専門基礎（EFH）

経済と社会の仕組みⅠ
経済システム理論Ⅰ
コンピュータ・リテラシーⅠ

専門関連（BCF）

現代アメリカ政治A
量的社会調査方法論A
現代中国論A
東アジア政治思想A
日本経済論A
現代中国経済論
現代韓国経済論
比較企業形態論
国際関係論（政治学を含む）
環境科学論
労働経済論
情報社会と統計
地域交通体系論
都市計画論
東アジア比較開発Ⅰ～Ⅳ

異文化コミュニケーションG
異文化コミュニケーションH

経済と社会の仕組みⅡ
経済システム理論Ⅱ
コンピュータ・リテラシーⅡ

現代アメリカ政治B
量的社会調査方法論B
現代中国論B
東アジア政治思想B
日本経済論B
民法基礎
環境経済論

経済理論A
応用経済A
アジア比較文化論
比較経済論A
経済法
法社会の基礎(日本国憲法を含む)
労働法

地域コミュニティ論
経済理論B
応用経済B
北海道経済論
アメリカ比較文化論
比較経済論B
商法基礎
社会心理学
公共経済論

観光産業学科専門A・B（CDEFG）

観光学Ⅰ	観光学Ⅱ
観光事業論Ⅰ	観光事業論Ⅱ
観光地理論Ⅰ	観光地理論Ⅱ
観光政策論Ⅰ	観光政策論Ⅱ
観光産業論Ⅰ	観光産業論Ⅱ
観光振興論Ⅰ	観光振興論Ⅱ
観光情報学Ⅰ	観光情報学Ⅱ

観光産業学科専門C（DFG）

観光文化論	観光関連法規
	観光景観論
	旅行実務

観光産業学科専門D（FH）

観光研究ゼミナールⅠ	観光研究ゼミナールⅡ
------------	------------

観光形態論
観光調査論
地域観光論
旅行企画論
観光ビジネス論
ツーリズム研究

観光研究ゼミナールⅢ

商学科専門A・B（CDEF）

マーケティングⅠ
企業経営論Ⅰ
金融システム論Ⅰ
アカウンティングⅠ
人的資源管理論Ⅰ
国際経営論Ⅰ
物流システム論Ⅰ
管理会計論Ⅰ
経営分析論Ⅰ
流通戦略論Ⅰ

観光研究ゼミナールⅣ

マーケティングⅡ
企業経営論Ⅱ
金融システム論Ⅱ
アカウンティングⅡ
人的資源管理論Ⅱ
国際経営論Ⅱ
物流システム論Ⅱ
管理会計論Ⅱ
経営分析論Ⅱ
流通戦略論Ⅱ

商学科専門C（CDEF）

流通論
原価計算論

広告論
国際金融論
アントレプレナーシップ論
国際ビジネスコミュニケーション
国際経営組織論
中小企業経営論
企業経営戦略論
財務諸表論

商学科専門D（GH）

コマース研究ゼミナールⅢ

コマース研究ゼミナールⅣ

専門キャリアアップ（ACGH）

職業指導Ⅰ	社会行政論Ⅱ
社会行政論Ⅰ	税務会計論Ⅰ

社会行政論Ⅲ
税務会計論Ⅱ
情報管理論Ⅰ
旅行業務論Ⅰ
旅行業務論Ⅱ
通商実務論Ⅰ
通商実務論Ⅱ
PAL(専門職中国語)Ⅰ
PAL（専門職韓国語）Ⅰ
PAL（TOEIC英語）Ⅰ
商業科教育法Ⅰ
公民科教育法Ⅰ

職業指導Ⅱ(自由科目)
社会行政論Ⅳ
社会行政論Ⅴ
税務会計論Ⅲ
情報管理論Ⅱ
旅行業務論Ⅲ
通商実務論Ⅲ
PAL(専門職中国語)Ⅱ
PAL（専門職韓国語）Ⅱ
PAL（TOEIC英語）Ⅱ
インターシップⅠ
商業科教育法Ⅱ
公民科教育法Ⅱ

情報管理論Ⅲ
旅行業務論Ⅳ
通商実務論Ⅳ
PAL(専門職中国語)Ⅲ
PAL（専門職韓国語）Ⅲ
PAL（TOEIC英語）Ⅲ
インターシップⅡ

PAL(専門職中国語)Ⅳ
PAL（専門職韓国語）Ⅳ
PAL（TOEIC英語）Ⅳ